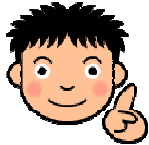


クラフト（ダンボールアート）

1 活動のねらい

コミュニケーション能力	自分のことは自分です	何事も最後までやり遂げる	リーダー性	自己をふり返り、集団を見つめ直す	自然に親しみ、環境について考える
○	◎	○			○

2 概要



木の実や葉っぱを使ったダンボールアートです。自然にあふれた英彦山での活動の思い出の品になります。



使う道具

3 対象・人数・活動形態

- 小学生～成人 40名程度
- 個人～6名グループ



完成見本

4 活動の流れ

活動前

道具の受け取り
事前説明

活動50分

※人数により時間が異なります。



①フレームとなる小枝を切る。



②枝をグルーで固定する。



③木の実や葉をグルーで固定する。



④キリで穴を開けて麻ひもを通す。

片づけ

活動場所の清掃
道具の返却

5 準備物

『青年の家』 のこぎり、グルーガン、はさみ、キリ

『団体』 軍手、固形ボンド（グルーの芯）又は木工用ボンド、ダンボール（B5目安）、麻ひも、木の実や貝殻 等

ダンボールアート ひとくち MEMO

青年の家周辺に落ちている葉っぱや小枝、貝殻やどんぐり等（団体で準備）を使って自由な発想でつくってみよう。